東山小　文部科学省研究開発学校

40 分授業　午前 5 時間制を生かして

目黒区立小学校は、令和 6 年度から文部科学省の「研究開発学校制度」として、1 単位時間 40 分授業・午前 5 時間制を導入し、児童の学習と生活の質の向上を図るため、創意工夫ある教育課程を編成しています。

1コマ40分授業・午前5時間制で生み出された時間の活用

1、児童のための時間

マイスタ　**(自己選択学習／自学自習の時間)**を年間通して実施しています。

（1）ねらい

児童の主体的な学びのため、学年段階に応じて、統一課題または個別課題を選択して、基礎・基本の学習の習得・定着、活用・発展学習などに進んで取り組む。＊「裁量」扱いで、教科時数には含まみません。

（2）方法

毎週火・木曜日の昼休み後の 20 分間　〈13:40-14:00〉

（3）取組内容

授業の復習や予習　・苦手な学習内容の補習　・もっと調べたいことに取り組む発展学習など、**自分で**学習内容・方法を選択して取り組む時間としています。

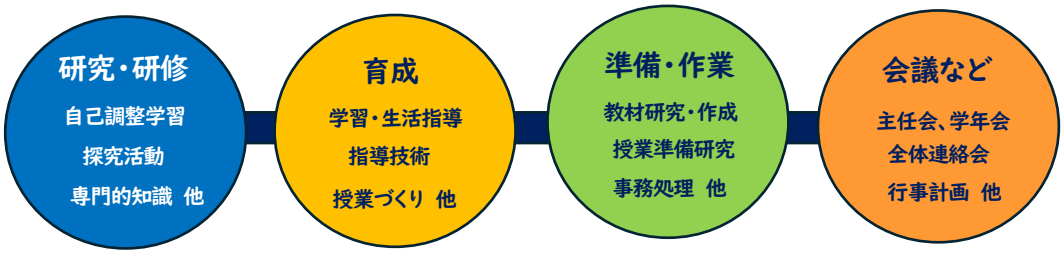
【学校統一の取組】

4 月は前年度の復習中心　、その後は、現学年の復習や予習　、苦手な学習内容の補習、　もっと調べたいことに取り組む発展学習、学期末・学年末には「スペシャルマイスタ」として、現学年の総復習のため、5時間分の学習計画を自分で立てて取り組んでいます。

また、6月と2月はこの時間を活用して、「担任と児童の対話（ダイアローグ）」も行っています。

2、教職員のための時間

放課後の「**生み出した時間（余白）**」を、教職員の力量や学校の教育力を高めるために活用しています。



◆本校の研究開発主題「**自発的な学習能力の育成**」を目的に、次期学習指導要領を見据えた先行実践の提案として、令和7年度には全国発表を行いました。